加古川市八幡町宗佐の公会堂が改築された

神戸新聞　2020.12.11

宗佐公会堂を改築

60年ぶり、多世代交流の場に

加古川

加古川市八幡町宗佐の宗佐町内会が、約60年ぶりに公会堂を改築した。鉄骨造りの平屋建てで、多目的ホールや会議室がある。地域住民の意見も取り入れ、モダンな雰囲気の外観に仕上げるなど、随所にこだわりが詰まっているという。

1962年建築の旧公会堂は広さ約210平方㍍。部屋は狭く、トイレの衛生環境も整っていなかった。また、過去にはアライグマの親子がすみ着いていたことも。地域住民の足は次第に遠のいた。

新公会堂は4月に着工し、約7カ月間で完成。床面積を約300平方㍍に広げた。外壁は人気カフェの色合いをイメージ。災害時の一時避難場所としても活用できるように、多目的ホールには移動式のパーティション（間仕切り）があり、男性用と女性用の部屋に分けられる。

11月には内覧会があり、住民約200人が参加。神沢幸治会長（70）は「幅広い世代が集まれる場所になってほしい」と話す。今月下旬には、子どもたちのお楽しみ会が開かれる予定。（千葉翔大）

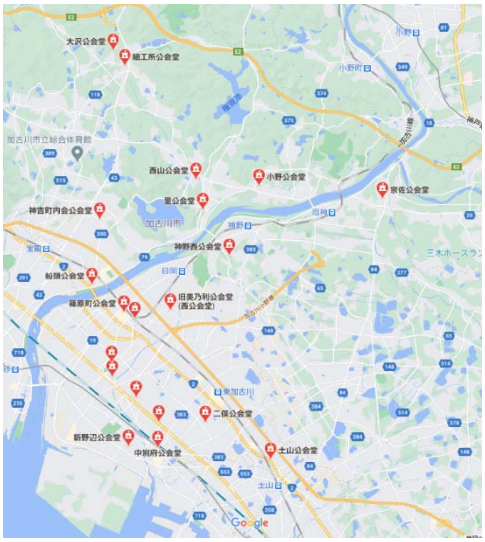
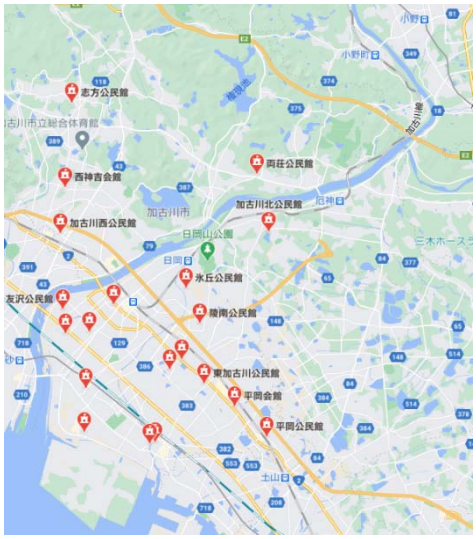
改築された宗佐公会堂＝加古川市八幡町宗佐

日本大百科全書(ニッポニカ)の解説

公会堂とは、公衆のための公益的な大集会行事に適した会堂のこと。

公民館とは、教育・学術・文化に関する事業を行う地域社会教育施設。

公会堂（GoogleMap）



公民館（GoogleMap）